

安全上の注意

本文は本錠をお使いになる場合、人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡・重傷」などを負う可能性が想定される内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害または物的損害」が発生する可能性が想定される内容です。

定保 定期的な保守点検が必要です。

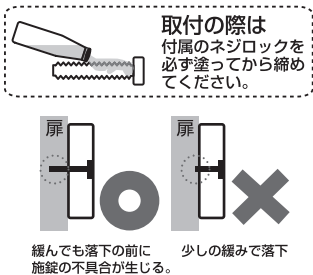
警告 **注意** **定保** 取扱説明書などの電磁錠の注意点を必ず確認し、設置してください。

電磁錠は、マグネット式の電気錠で盗難を防止するものではありません。防犯性能を目的に使用される場合は別途補助錠を設置してください。電磁錠は、水平磁化方向や斜め磁化方向に作用する重力に対しては、構造上、吸着力は仕様値より低くなります。扉を開ける際、扉の状況、人的要因に応じてかかる重力は異なります。吸着力以上の重力に対して電磁錠は解錠します。

警告 **定保** 長いネジとネジロックでしっかり固定

本体・吸着板を取り付ける場合、固定するネジが緩まないように付属のネジロックを必ず塗ってから締めつけてください。

吸着板の取付金具を使用して固定する場合、固定ネジは扉の中に入るように長いネジ(30mm～40mm)を使用してください。短いネジは緩んだ場合に吸着板が落下する危険があります。



警告 **定保** 取付作業は専門の技術者にお任せ

電磁錠を取り付ける場合は、専門的な技術と経験が必要です。取り付ける場所に応じて重量に耐えられる強度を確保して設置工事を行ってください。強度不足で落下する危険があります。

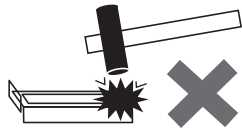
警告 **定保** 安全な場所への取付

人体が接触する可能性のある場所に設置する場合、電磁錠本体で怪我などしないように、安全管理を十分に考慮した上で取り付けてください。

警告 **定保** 規定の電源と配線を厳守 (+.- を間違わないこと)

注意 センサーに衝撃を与えない

電磁錠本体に強い衝撃を与えないでください。ハンマー等で叩くと内蔵されている施解錠センサーが壊れる可能性があります。門扉等に設置する場合はその事を考慮して使用してください。



注意 火気・高温多湿、ガスなど厳禁

火気の近くや高温多湿な場所には取り付けしないでください。また、腐食性ガスや可燃性ガスが発生するような場所には設置しないでください。

注意 塗料・コーティング / 不正改造の禁止

電磁錠本体・吸着板へは、サビ止めなどの塗料を塗ること、また不正改造を禁じます。不具合、安全上の問題が発生します。

補足及び諸注意【設置についての注意事項】

- 取付下地は、製品を設置する際には吸着力、製品重量を考慮した取付下地をご用意ください。製品脱落や、下地の破損に繋がります。
- 脱落防止のため、設置場所によっては、ダブルナットなど別途に用意して、固定してください。
- 本体と吸着板がお互い真正面で密接するように設置してください。電磁錠は、吸着板を引き込むほどの力はありません。
- 吸着板は、ワッシャーとゴムパッキンを使用して、適度ながたつきがある状態での設置が必要です。

施錠不良・吸着力の低下や信号が正常に動作しない場合があります。ネジロックを必ず使用してください。

- 「吸着板取付ネジ」の締めすぎは、ゴムパッキンが必要以上に圧縮され破損に繋がります。

※ゴムパッキンの圧縮目安は「約8%～18%」(参考値)

※その他、取付状況や使用頻度により劣化が生じ、破損する場合もございます。※ゴムパッキンの破損は保証対象外になります。

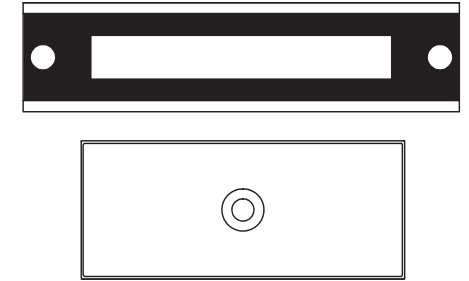
- 本錠はマグネット式の電気錠で盗難を防止するものではありません。以下の場合に起因する本製品の不適切な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に対し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。万一発生した盗難・災害・事故・人身被害及び機器のご使用方法の誤り、

改造による不具合や故障・保守点検などの不備・天災地変・注意事項に反した取り扱いなどによって生じた故障については保証できません。

この【安全上のご注意】は、本錠の仕様の変更・製品の品質向上に伴い予告なしに変更することがございます。予めご了承ください。

LC-EM2100LSS 取扱説明書

2023-12 改訂版



このたびは、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

設置場所についての注意

最適な条件でお使いいただくために、本機を設置する場所については次の点に注意して設置場所を決め、ご使用ください。

- 次の条件に合う場所に設置して使用してください。

- 周囲の温度が 0℃～40℃の範囲にある場所
- 周囲の湿度が90%RH(相対湿度)以下で、結露しない場所
- 風通しが良く、熱がこもらない場所
- 直射日光が当たらない場所

- 次のような場所には設置しないでください。

- 振動のある場所
- 火気に近い場所
- 水気のある場所や薬品に触れる恐れのある場所

- 次のような場所は、機器の故障につながる恐れがあります。

- 経年変化により扉の垂れ下がり、反り、歪みなどが生じている状態
- ドアクローザーの調整不足や扉環境により、扉と製品に強い振動や衝撃が加わる状態

安全上の注意

- 本製品の定格電圧はDC24Vです。それ以外の電圧で使用した場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 製品に同梱されておりますバリスタを確実に接続してください。

- 本体、吸着板を取り付ける場合、固定するネジが緩まないように付属のネジロックを必ず塗ってから締めつけてください。

取付金具を使用して固定する場合、固定ネジは扉の中に入るように長いネジを使用してください。

短いネジは緩んだ場合に本体、吸着板が落下する危険があります。

- 製品の設置状況については、脱落防止の観点から定期的な点検を実施してください。

- 電磁錠に明記しております吸着力は、本体と吸着板を吸着させ、垂直磁化方向に引っ張った際に掛かる重量Kgです。

仕様の吸着力は、特性を最大限生かされた場合の参考値になります。保証値ではありません。

電磁錠は、水平磁化方向や斜め磁化方向に作用する重力に対しては、構造上、吸着力は仕様値より低くなります。

扉を開ける際、電磁錠の設置位置、扉の重量、取手の高さや大きさ(取手の掴みやすさ)、扉の開ける人の体重、筋力等によってかかる重力は異なります。吸着力以上の重力に対して電磁錠は解錠します。

- 電磁錠は、吸着時、常時電圧が印加しております。外気温と抵抗に応じて、最大約55℃の熱が生じます。

木製扉に掘り込んで取り付ける場合、当社が指定する製品を必ず使用してください。

本体温度を40℃以下に保つように考慮して設置してください。火災・故障の原因となります。

- 施工方法をよくご理解、ご確認の上、施工を実施してください。

不適切な施工により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に対し、

当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

- 他社製品により直接、或いは間接に誘発された場合の機器の損害、不動作は保証対象外です。

仕様

商品型番	LC-EM2100LSS
施錠方式	電磁式吸着施錠
定格電圧	DC24V
消費電流	150mA±10%/DC24V
防水性	IP65
使用温度範囲	-10℃～60℃ 結露、氷結なきこと
寸法 (本体)	100 X 25 X 20 mm
寸法 (吸着板)	80 X 30 X 8.5 mm
重量	本体：350g 吸着板：160g
標準装着ケーブル長	約 500mm
施錠信号	b 接点 (施錠時メーク)
	接点容量 24VDC/40mA Max
開扉信号	無し
吸着力	50Kg

梱包明細

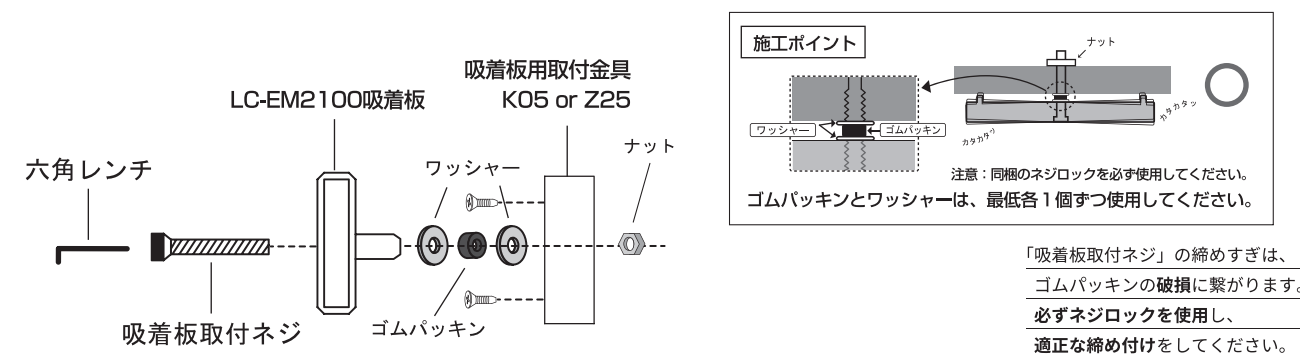
1. 電磁錠本体
2. 吸着板
3. ネジロック
4. 本体・吸着板取付用六角レンチ
5. 吸着板取付ネジ
6. 吸着板取付ネジ受け金具 (鉄扉等における貫通用)
7. バリスタ×1 (必ず接続してください)
8. ワッシャー×2/ゴムパッキン×1 (吸着板取付ネジ用)
9. 電磁錠本体固定ネジ×2
10. 取扱説明書
11. 保証書



吸着板取付時の注意点について

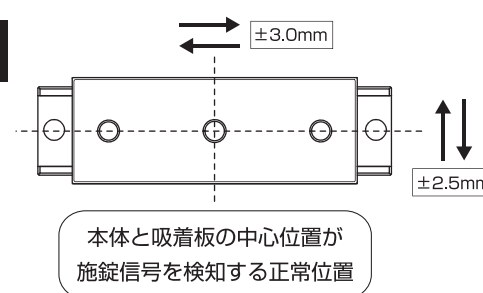
吸着板と吸着板用取付金具の間にゴムパッキンとワッシャーを入れ、吸着板に適度な「がたつき」が生じるように固定してください。吸着板と吸着板用取付金具が密着状態（動かない状態）では、正しく施錠しません。

注意：本体や取付金具を取り付けする場合、固定するネジが緩まないように付属のネジロックを必ず塗ってから締めつけてください。また固定するネジは、扉の中に入るように長いネジ(30mm～40mm)を使用してください。短いネジは緩んだ場合に、本体や吸着板が落下する危険性があります。



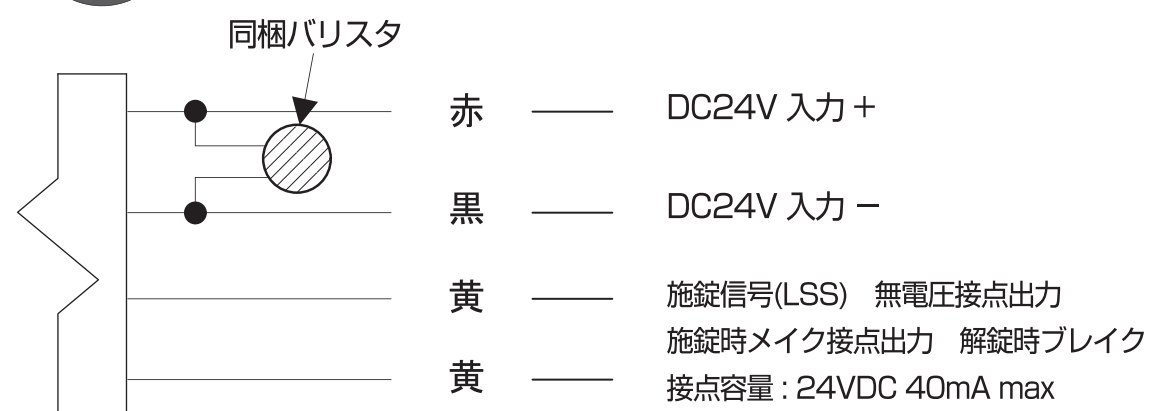
施錠信号 (LSS) について

吸着を検知するセンサー (施錠信号/LSS) を内蔵しています。右図 電磁錠本体と吸着板の上下左右の中心位置が、正常な施錠信号を検知する位置になります。吸着板の位置ずれによる信号検知許容範囲は、中心位置より【上下±2.5mm】【左右±3mm】になります。



配線仕様

ご注意 バリスタは電流を一定の方向に流すため必ずご使用ください。



注意：施錠信号 (配線色黄色) の接点容量は「24VDC Max 40mA」になります。接続機器からの逆起電圧等、接点容量以上の電圧が流れると故障致します。※接続機器と本製品の間には、ダイオード内蔵リレーの接続を推奨しております。弊社制御盤との接続の場合は、リレーの接続は不要です。※上記原因による故障については、保証対象外になります。

取付金具取付例

取付金具は、オプションです。注意：M05-EM2100は、本体と寸法が一部異なります。

